

「確かな学力」を育てる学習活動の工夫 — 少人数学級に応じた算数科の授業づくり —

I 研究の内容と方法

1. 研究内容

○授業づくり

(1) 児童の実態の把握

○NRTや学力診断テストの結果、「Q-U」などを活用して各学年の児童の実態把握をし、学級集団づくり、学習指導、研究に生かすために課題や手だてについて検討する。

(2) 理論研究

○全体研究で、研究の基本方針の検討決定を行う。

○講師を招いての理論研究を行う。

(3) 研究授業

○授業研究・・・各自実践事例を積み重ね授業作りの工夫をし、その中で一人一実践を基本とし授業を通して実践的に学び合う。

研究授業の授業案検討から学び合い、深めることで指導法を学ぶ。

○学習基盤づくり

(4) 学習規律・習慣の確立

○「玉宮小学習の約束」や「表現力アップ」など、学習基盤の検討・取組を行う。

○家庭学習について全校で方向を確認し、取組を進めていく。

○朝学習の時間の有効な活用について研究する。

2. 研究実践

(1) 児童の実態の把握

hyper-QU年2回実施 K-13法による分析 課題と手立ての確認・取組

NRT, 学力テストの結果の分析

(2) 理論研究 「アニマシオン」についての学習会

「算数科の授業づくりについて」学習会など

(3) 研究授業

○一人一実践・研究授業

- ・ 9/10 第1学年 授業実践「3つの数の計算」
- ・ 9/19 第3学年 授業実践「三角形のなかまを調べよう」
- ・ 10/8 第4学年 研究授業「広さを調べよう」
- ・ 10/22 第6学年 授業実践「堆積の求め方を考えよう」
- ・ 10/29 第5学年 授業実践「図形の角を調べよう」
- ・ 11/5 たけのこ学級 授業実践「図形の角を調べよう」

(4) 学習規律・習慣の確立

○「玉宮小学習の約束」「表現力アップ」の確認・取組

○学習の約束チェックシートを使つての意識調査、取組

○「話し方・聞き方」表現力を高める工夫について意識化

○玉宮小「家庭学習の手引き」及び、学年ごとの取組の目安・内容の提示・取組

II 成果と課題

1. 成果

< 児童 >

- 問題の解決の道筋を、児童も意識して取り組んだことで、より理解が深まった。
- 自分の思考した過程を式(数)や図、言葉を使って表現し、みんなに分かりやすく説明する力がついた。
- 個で考えたり、班で相談したり、みんなで考えを練り上げたりする中で、考えを深めていくことができた。
- 新しい内容でも既習の内容や経験を生かして、やり方を思考する習慣が身についた。
- 個人持ちのホワイトボードは、持つだけで児童の関心をそそり表現しようという意識につながるので、ホワイトボードは、本校児童に有効であり、授業への参加意識が高まったり思考力・表現力をつけるツールとなる。
- 学び合うために必要な「聞き方のあいうえお」、「話し方のかきくけこ」について継続的に指導することで、意識されてきた。
- ノートに継続して学習感想を書くことで、その時間に学んだことを見直したり、自分の力や友達の考え方を客観的に見たりできるようになった。
- 考えたり、文を書いて表現したりすることへの抵抗感が減り、国語や社会など他の教科の表現活動の質も向上している。

< 教師 >

- 児童がどのように思考するのかを予測し、また、思考をいかに引き出すのかを考えることにより、自分の引き出しを増やすことができた。
- 少人数学級であることを教師は前向きにとらえ、授業においては児童一人一人の個性や力量に応じて細やかに見つめられることを大きな利点と考え、支援の方法や指導の工夫を多く試みることができた。そのことが教師を(また児童を)伸ばしていく。
- 一人一人の考えの道筋を理解して、それを学習指導に生かす工夫をしようという意識と具体的な取組が見られ、算数については一歩踏み込んだ指導ができたと思う。
- 児童が効果的に思考できる課題提示の仕方や学び合いをどんな目的でどう展開させるか、思考した過程や思考の手立てとなることをどう板書するかなど研究を積んだことで、実践力を高めることができた。
- 児童の学習感想をそれ以後の児童への手立て(支援)に役立てたり、自分の発問や課題設定、板書の仕方を変えたり、指導の仕方を見直すのに役立てることができた。

2. 課題

- 支援の方法や指導の工夫とともに、授業の流れをつくる教師の発問について、いろいろな視点から研究を深められるとよい。
- 教具の有効的な活用、「思考を深める場面」「学び合う場面」を具体的方法として取り出せるとよい。
- 冒頭の課題把握、終末の振り返りなど授業の流れを意識した取組を強化してはどうか。

III 成果物

- 玉宮小家庭学習の手引き 及び各学年の取組
- 玉宮小学習の約束・学習の約束チェックシート
- 「話し方・聞き方」表現力を高める工夫

(研究主任 田邊 珠紀)